

暦のうえでは、もうすぐ「春」



でもまだまだ寒い。春よ来い！

平成29年も明けてもうひとつきが経ちました。いまが最も寒い時期ですが、暦のうえでは、もうすぐ春ですね。



でも、まだまだ冬本番という感じですね。旧暦で季節を表す習慣が残っているので、こんな大きなずれが生まれてしまいますね。では、ここで子どもたちの冬の生活を詠んだ句を。

「雪の日だ こたつのなかで ねごっこ」 (3年)

「みかんがね こたつの上で ねむってる」 (4年)

「冬の朝 ふとんからでて こたついく」 (6年)

というように、子どもたちも寒い冬とかかわって生活していますね。

2月3日は、「節分」。その翌日が「立春」です。つまり、「春」の到来です。「節分」は季節と季節の境目の日ですが、「立春」の前の「節分」だけが名前が残り、一般的な行事『まめまき』も残りました。いろいろな事情があったと思いますが、昔の人々が春を待ちわびていたことが大きな要因だと思います。ほんとうの春までもう少しですが、子どもたちもまとめの学期を元気よく過ごしています。学校としても本年度のまとめの時期として、しっかりと活動をしていきたいと思っています。

「なわとび集会」みんなでとびました！



一週間縦割り班で練習し、1月20日(金)、大会にチャレンジしました。6年生を中心とした高学年が、上手に下の学年の子をリードして活動してくれていました。これが、縦割り班の活

動のいいところであり、学習してほしいところですね。昔と違って地域でなかなか縦割り集団ができません。会社など世の中は縦割り集団です。だからこそ、わざわざ学校で縦割りの活動を、時間を使ってするのは、

高学年が高学年らしく活動できていることが、うれしいですね。

(写真 左：なわとび大会 右：なわとび大会表彰集会)

今年度の卒業式

3月16日(木曜)に行います。

卒業生の6年生と在校生として5年生と4年生が参加します。

「お名前は？」 名なしプリント これだれの！



校長先生がだしている主に俳句募集のプリントですが、みんな応募はいっしょうけんめいに努力してくれて、毎回いい作品が手許に残り、とても喜んでます。

ところが、毎回名なしのプリントが、残念ながら複数みつかります。「全校にこれはだれの」と毎回きいては、時間の無駄ですね。

配布されたプリントに名前をかくことは、当たり前だと思っています。提出するときには、きちんと再確認をする、こんな当たり前が抜けている子が、何人かいます。せっかくのいい作品なのに発表もできないし、そのプリントを返すこともできません。ほんとうに残念だなと感じています。

記名の習慣が徹底できるとよいと痛切に感じています。

句を読む 冬のこもれば あたたかし (石原吟)



今年度最後の授業参観日

どうかご参観を！ みんな元気に活動中！

2月6日(月曜)のチャレンジタイムと5時間目を、保護者の方に公開します。公開時間は、13:30~14:30です。

今年度最後の授業公開ですので、参加していただいてお子さんの成長ぶりをご確認ください。続いて、PTA学年集会・地区集会が開催されます。ぜひご参加ください。



1月俳句 (校長選句)

1月は、まだお正月の余韻を残して、時が過ぎていきます。そして、1年でいちばん寒い時期を迎えます。この寒さは、日本人を試しています。粘り強く取り組めるかテストをしています。いろいろなことをやるのに、環境は適していませんが、これも試練だとしっかりと取り組んでいきましょう。

一月は	いちばんうれしい	たんじょう日	(1年)
雪たちが	パラパラパラと	ふっている	(2年)
雪だるま	たのしいけれど	めんどうだ	(3年)
さむすぎて	ゆきもつららも	ねむってる	(4年)
冬の山	雪のふとんを	かぶってる	(4年)
雪の中	かくれているよ	水仙だ	(5年)
朝の庭	雪の下には	寒椿	(5年)
じよやのかね	みんなの心に	ひびく夜	(5年)
雪が降り	こおって車に	霜柱	(6年)
雪降って	できた地面を	霜ふんで	(6年)